



# 第72期

第2四半期(中間)事業報告書

平成27年4月1日▶平成27年9月30日

東亜ディーケーケー 株式会社

証券コード：6848

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

吉々本輝男

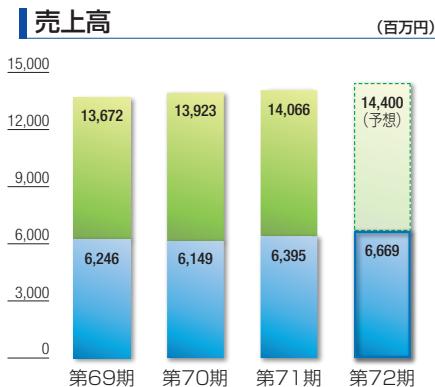
第72期第2四半期（中間）事業報告書をお届けするに当たり、株主の皆様には平素のご支援に対し心から御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安傾向が続く中、中国経済の減速と世界同時株安の影響もあり、国内の設備投資環境は慎重な姿勢が続いており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループは、期初から計測機器事業の拡大に注力してまいりました。特に、国内需要は成熟期にあることから、海外戦略に人的資源を投入するとともに積極的に受注活動を展開いたしました。

## 財務ハイライト（連結推移）

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想



当第2四半期連結累計期間の売上高は、計測機器事業の海外輸出の大幅な増進に加えて不動産賃貸事業の増収もあって、合併以来過去最高となりました。

一方、利益面でも、為替の円安傾向が続いていることから、輸入販売製品のコストアップ分を販売価格に転嫁することが難しい状況になりましたが、当社固有の技術力と比較的高占有率を誇る基本プロセス計測器群（水質計）の伸長がこれを十分に吸収しカバーいたしました。

従いまして、利益はいずれも増益となり、当第2四半期決算は増収・増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,669百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益

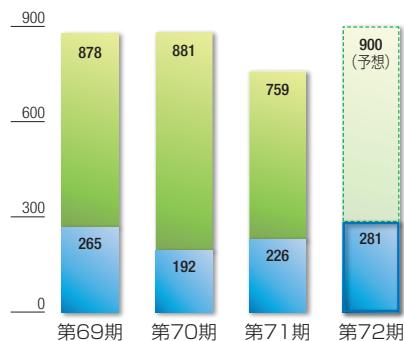
は453百万円（前年同期比13.4%増）、経常利益は480百万円（前年同期比15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は281百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

ここに永年に亘る株主の皆様の温かく力強いご支援とともに、お客様、お取引先等全てのステークホルダーの皆様のご支援に改めて厚く感謝申しあげる次第であります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう懇願申し上げます。

平成27年12月

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



■ 連結総資産 ■ 連結純資産

■ 総資産／純資産 (百万円)



## 分野別売上高の概況

### 計測機器事業

売上高 **6,536百万円** (前年同期比 4.2%増)

### ● 環境・プロセス分析機器

売上高 **2,491**百万円 (前年同期比 6.9%増)

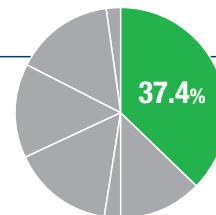


法規制に対応した環境用水質及び大気の監視、安心・安全でおいしい水道水の供給、そのほか水処理を必要とするあらゆる業界の生産、品質管理プロセスに導入されています。

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

この中で国内市場では、環境用大気測定装置が設備投資需要に伴い好調裡に推移し、増収となりました。

一方、海外市場では中国（環境用水質分析計）及び韓国（上下水道用分析計）が堅調に推移したため、増収となりました。これらの結果、全体としては前年同期を6.9%上回る増収となりました。



### ● 科学分析機器

売上高 **846**百万円 (前年同期比 2.4%増)

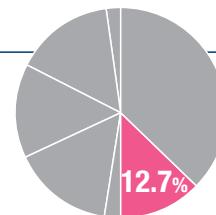


大学や試験研究機関、製造現場、化学、製薬、食品、農業等あらゆる場所の水質測定に使用されています。

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療用機器等があります。

ラボ用分析機器及びポータブル分析計が伸び悩んだものの、医療関連機器の透析施設向け「粉末薬剤溶解装置」の回復と、供給能力が大幅（50床から70床）にアップした新モデルの「A剤／B剤自動溶解装置」の売上高が寄与し、前年同期を2.4%上回りました。

また、ラボ用分析機器の新製品として、高信頼性と優れた操作性の同時モデルチェンジを実現した卓上水質計「Xシリーズ」の販売を10月末に開始し、高い期待をしているところです。



## ● 産業用ガス検知警報器

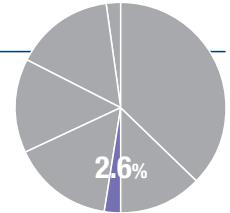
売上高 **175**百万円 (前年同期比 20.0%増)



ガス貯蔵場所、製造ラインの可燃性ガスや有毒ガスの漏洩を連続監視し、安全な作業環境を提供しています。

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

前期は半導体不況により需要が低迷しておりましたが、当第2四半期はガス検知警報器顧客の需要の掘り起こしなどにより国内売上高が回復傾向を示し、前年同期を20.0%上回りました。



## ● 電極・標準液

売上高 **1,019**百万円 (前年同期比 0.6%増)

## ● 保守・修理

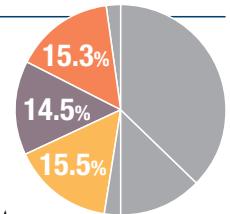
売上高 **967**百万円 (前年同期比 7.0%増)

## ● 部品・その他

売上高 **1,036**百万円 (前年同期比 1.5%減)

この分野は、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、リペアパーツ等に該当するものであります。

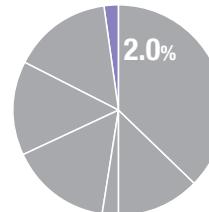
電極・標準液及び保守・修理分野の売上高は、縮小傾向が続いていた保守が伸びましたが、部品・その他については、部品の売上高は増加したものの前年同期並みとなり、全体としては前年同期を1.8%上回りました。



## 不動産賃貸事業

売上高 **133**百万円 (前年同期比 10.6%増)

東京都新宿区の本社に隣接して賃貸ビル1棟、埼玉県狭山市に貸店舗1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。本社隣接の賃貸ビルが満室となり、当事業の売上高は133百万円(前年同期比10.6%増)となりました。



## クウェート国KCCEC社と販売代理店契約を締結

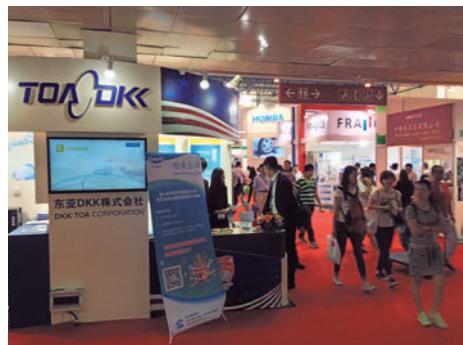
平成27年9月9日、当社は、クウェート国のエンジニアリング会社 KCCEC社 (KCC Engineering and Contracting Company) と販売代理店契約を締結しました。

当社は経営戦略の一つに海外販売の拡大を掲げており、中国、韓国等のアジア諸国と並び中東地域でのプラント用分析計の需要獲得を重要課題として挙げています。クウェート国においては、従来より国内プラント各社を通じて多数の発電所に納入実績があり、高い評価をいただいています。今回、MEW(水・電力省)等、クウェート国の政府機関への納入実績も豊富なKCCEC社との契約を機に、環境意識の高まりをみせる中東地域で更なる販売拡大を目指してまいります。



## 海外展示会へ積極的に出展

平成27年6月に、北京で開催された「CIEPEC2015」に出展しました。「CIEPEC」は中国最大規模の国際環境保護展です。期間中は中国主要各都市の環境保護担当者や環境計測器メーカー等多くの方にお立ち寄りいただき、連日大盛況のうちに終了しました。そのほか、インドネシアの「INDOWATER2015」(水・廃水技術展示会)、マレーシアの「OGA2015」(アジア最大の石油・ガス展示会)と相次いで海外展示会に出展しており、今後も海外における当社の知名度向上活動を推進し、需要拡大につなげてまいります。



## 海外営業本部として新たなスタートを切りました

グローバル人材の育成・強化と海外での需要拡大を目的として、平成27年7月に海外営業部は本部に昇格しました。今後はより積極的な戦略をもってグローバル化を推進してまいります。

## 卓上水質計をフルモデルチェンジ（新型Xシリーズ）

平成27年10月末に、当社の主力機種の一つである卓上水質計をフルモデルチェンジした「Xシリーズ」全6種の販売を開始しました。

本シリーズは、従来シリーズのモデルチェンジ品で、機能やユーザビリティを向上させ、ラボ測定に最適な水質計として提案させていただいています。上位モデルには大型カラータッチパネルを搭載し、視認性・操作性・メンテナンス性も向上しました。電極には測定項目ごとに異なるカラーを用いて識別しやすくしたほか、より柔軟なリード線を採用して使い勝手を向上させました。本モデルの投入により、当社のコア技術であるラボ用分析計の売上増進を期待しています。



マルチ水質計 MM-43X

## 株主優待制度のご案内

毎月9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主様に、社会貢献型寄付金付クオカードを贈呈しております。クオカードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を(社)国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。(株主様には全額お使いいただけます。)

前期分につきましては、7月に寄付させていただきました。株主の皆様のご協力に感謝いたします。

### ◎株主ご優待の基準及び内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

### ◎贈呈の時期及び方法

年1回、毎年12月に第2四半期（中間）事業報告書に同封してご送付いたします。

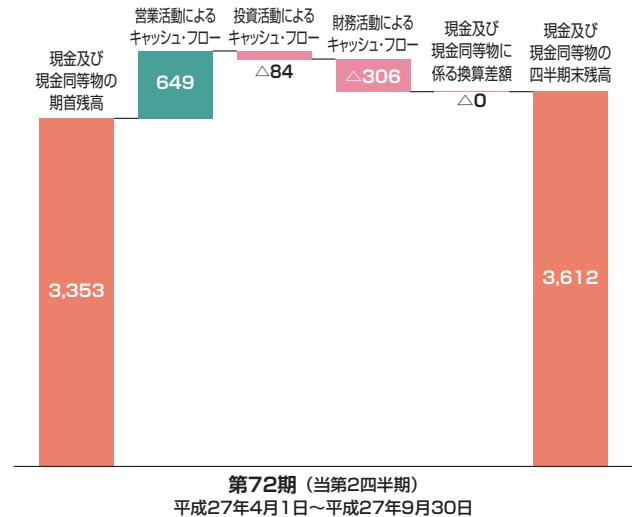


## 第2四半期連結財務データ

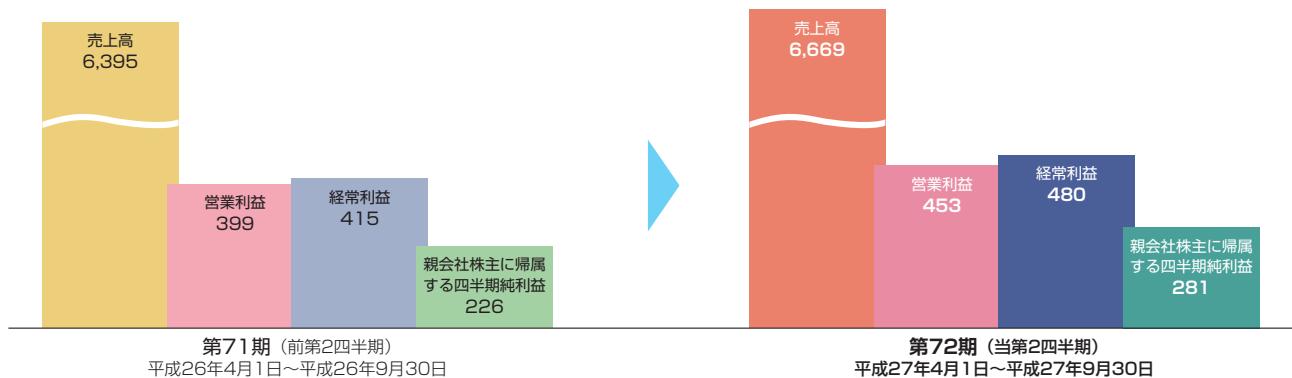
第2四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



第2四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



## 第2四半期連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度	当第2四半期
	平成27年3月31日現在	連結会計期間 平成27年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	12,539	12,310
固定資産	5,680	5,473
有形固定資産	3,219	3,123
無形固定資産	478	430
投資その他の資産	1,982	1,919
資産合計	18,220	17,783
(負債の部)		
流動負債	3,037	2,746
固定負債	3,143	2,994
負債合計	6,181	5,741
(純資産の部)		
株主資本	11,289	11,353
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	8,161	8,225
自己株式	△11	△11
その他の包括利益累計額	748	688
その他有価証券評価差額金	770	707
退職給付に係る調整累計額	△21	△18
純資産合計	12,038	12,042
負債純資産合計	18,220	17,783

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	6,395	6,669
売上原価	3,892	4,061
売上総利益	2,502	2,608
販売費及び一般管理費	2,102	2,155
営業利益	399	453
営業外収益	33	34
営業外費用	17	7
経常利益	415	480
特別損失	0	4
税金等調整前四半期純利益	415	475
法人税等	189	194
四半期純利益	226	281
親会社株主に帰属する四半期純利益	226	281

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	772	649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323	△306
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	208	258
現金及び現金同等物の期首残高	2,813	3,353
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,021	3,612

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社の概況 (平成27年9月30日現在)

- 商号 東亜ディーケーケー株式会社
- 本社 東京都新宿区高田馬場一丁目29番10号
- 創立 昭和19年9月19日

- 資本金 18億4,248万1千円
- 従業員の状況  
男性 302名 女性 92名 合計 394名

## ● 役員

代表取締役社長	佐々木	輝	男
取締役会長	山守	康夫	
代表取締役副社長	高橋	俊夫	
取締役副社長	玉井	亨	
常務取締役	中村	守三	
取締役	赤沢	真一	
取締役	森寺	弘充	
取締役	山下	和人	
取締役	松野	侶夫	
取締役	上野	隆	
取締役	マニッシュ・バトナガー		
取締役	田中	健一郎*	
常勤監査役	柳下	耕一	
常勤監査役	吉田	壽*	
監査役	林	健市*	
監査役	富山	恭道*	

\*社外取締役 \*社外監査役

## ● 執行役員

伊東	哲
岡林	充洋
茂木	隆
嘉津	誠治
田野倉	和夫
沖田	安生
岸川	則夫
中島	信寿
東海林	正男
魚次	泰介

## ● 主要な事業内容

計測機器事業	<b>環境・プロセス分析機器</b> 基本プロセス計測器（pH・ORP計、電気伝導率計、溶存酸素計、電磁濃度計、ガスクロマトグラフ）、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計
	<b>科学分析機器</b> ラボ用分析機器・ポータブル分析計（pH・ORPメータ、電気伝導率計、イオンメータ、溶存酸素計、水質・塩分計、吸光光度計）、分離分析計、LAシステム、医療用機器（透析関連装置、臨床用検査機器）
	<b>産業用ガス検知警報器</b> 定置式ガス検知器、本質安全防爆ガス検知器、可搬型ガス検知器
	電極・標準液、保守・修理、部品・その他
不 動 産 賃 貸 事 業	

● 事業所及び営業所

本社	東京	〒169-8648	東京都新宿区高田馬場1-29-10	TEL 03-3202-0211
狭山テクニカルセンター・開発研究センター	埼玉	〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-6151
東京エンジニアリングセンター	東京	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5551
大 阪 支 社	大阪	〒530-0047	大阪市北区西天満3-6-28オクタス西天満ビル	TEL 06-6312-5100
札 幌 営 業 所	札幌	〒060-0806	札幌市北区北6条西6-2福徳ビル	TEL 011-726-9859
仙 台 営 業 所	仙台	〒980-0022	仙台市青葉区五橋2-1-4仙台五橋ビル	TEL 022-723-5734
千 葉 営 業 所	千葉	〒290-0038	千葉県市原市五井西2-2-11	TEL 0436-23-7531
神 奈 川 営 業 所	横浜	〒220-0021	横浜市西区桜木町5-26-3桜木町日本堂ビル	TEL 045-222-1361
静 岡 営 業 所	静岡	〒422-8036	静岡市駿河区敷地2-21-1コーポ汐入	TEL 054-236-0106
名 古 屋 営 業 所	名古屋	〒460-0022	名古屋市中区金山3-8-18プレアル名古屋金山	TEL 052-324-6335
岡 山 営 業 所	岡山	〒710-0824	岡山県倉敷市白楽町593-1亀山総合ビル	TEL 086-423-5181
広 島 営 業 所	広島	〒733-0002	広島市西区楠木町1-9-27第3コーポ大場	TEL 082-297-7370
山 口 営 業 所	山口	〒745-0055	山口県周南市相生町1-36山本ビル	TEL 0834-27-2707
四 国 営 業 所	香川	〒760-0055	香川県高松市観光通2-2-15第二ダイヤビル	TEL 087-831-3450
九 州 営 業 所	北九州	〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2-1-21駅西幹線ビル	TEL 093-551-2727
長 崎 事 務 所	長崎	〒850-0066	長崎市大浜町846-20	TEL 095-865-0921

● グループ会社

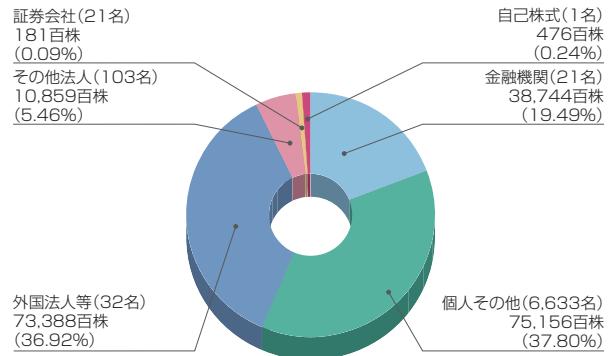
山形東亜DKK株式会社	〒996-0053	山形県新庄市大字福田字福田山711-109	TEL 0233-23-5011
岩手東亜DKK株式会社	〒028-0534	岩手県遠野市綾織町みさ崎9地割9-3	TEL 0198-62-5800
アリス東亜DKK株式会社	〒350-1315	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-7141
東亜DKKアナリティクス株式会社	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-567-2727
バイオニクス機器株式会社	〒207-0004	東京都東大和市清水6-1254-2	TEL 042-565-1200
東亜DKKサービス株式会社	〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5643

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

● 発行可能株式総数	50,000,000株
● 発行済株式の総数	19,880,620株
● 株主数	6,811名
● 大株主(上位10名)	

株 主 名	持株数 (百株)	出資比率 (%)
ハック・カンパニー	66,590	33.49
山下直	11,422	5.75
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.28
株式会社みずほ銀行	5,125	2.58
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,460	2.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,192	2.11
佐々木輝男	3,952	1.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,724	1.87
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,558	1.79
東亜ディーケーケー社員持株会	3,179	1.60

● 所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



(注) 持株数は、百株未満を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
配当金 毎年3月31日  
受領株主確定日 毎年3月31日  
基準日 (その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数 100株  
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部  
株主名簿管理人及び特別口座の管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行本店証券代行部  
お取扱店 みずほ信託銀行全国各支店  
みずほ証券本店及び全国各支店、プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)

郵便物送付先 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行証券代行部

電話お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL (<http://www.toadkk.co.jp/>)

### 住所変更、株主配当金受取り方法の変更等の諸手続について

●証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引の証券会社にお申出ください。  
支払明細の発行については、左の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

●証券会社に口座がないため、特別口座が開設された株主様は、みずほ信託銀行、みずほ証券またはプラネットブース (みずほ銀行内の店舗) にお申出ください。  
(ご注意)

特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

### 未払配当金のお支払について

みずほ信託銀行全国本支店またはみずほ銀行全国本支店にお申出ください。(みずほ証券では取次のみになります。)

IR情報はこちらをご覧ください。

URL <http://www.toadkk.co.jp/>  
当社ホームページをご覧ください。

### ● IR情報のご案内

当社では、IR専用サイトを設けて、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに提供しております。また、株主・投資家の皆様専用の「お問い合わせフォーム」もございますので、お気軽にご利用ください。

## 東亜ディーケーケー 株式会社

この第2四半期(中間)事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

経営企画部 企画・IR課 TEL 03-3202-0242  
FAX 03-3202-0285